

lenovo

Lenovo ThinkPad

Otsuka BP Div Collaborated with Lenovo Vol.6

譲らないこだわりが最高のパフォーマンスと 最上のステイタスをもたらす 本物を見極めた男の選択

CONTENTS

巻頭企画

本物を知る男たち

こだわるからこそ
見えてくる本物の真髄

特集記事

間違いだらけの オプション選び

オプションを有効活用して
ThinkPadの実力を
120%引き出す





太田 哲也氏

1959年生まれ。自動車評論家。レーシングドライバー。
 1998年全日本GT選手権で多重事故に巻き込まれ重傷を負い、再起不能と言われるもその後、社会復帰を果たし、現在ではモータージャーナリストとして多数の連載を持つ。
 また、ライフワークとして若い世代に「チャレンジする素晴らしさ」を伝える社会貢献活動「NPO法人 KEEP ON RACING」の代表も務める。
<http://www.keep-on-racing.com>

Ferrari360 & Alfa Romeo159 × Tetsuya Ohta

ドライバーに驚きと喜びを与えてくれるフェラーリ

いい車って何だろう？静かでストレスが無く運転が簡単で万人が自然になじめる。そんな車だろうか。しかしフェラーリはその逆だ。音が大きくて運転が難しくて…。フェラーリが何たるかを理解していないと格好よく乗りこなすことができない。フェラーリは基本的にはドライバーをほっといて理想ばかり追いかけている感じだ。だからフェラーリをフェラーリらしく乗るには、腕を磨き努力を重ねることが必要となる。でも乗りこなした時、特別な「音」や「フィーリング」でドライバーに驚きと喜びを与えてくれる。まさしく跳ね馬。生きる喜び。車好きなら一生のうちいつか一度は乗ってほしい。

**アルファロメオとフェラーリに共通する
五感に訴えてくる「何か」**

でも、そんな車に毎日通勤で乗るのは嫌だし、出かける場所も選ぶよね。だから僕は普段アルファに乗る。かつてエンツォフェラーリをして「私の母」と呼ばしめたが、現在のアルファは普通の乗用車である。だがその中にフェラーリと通じる“何か”を感じるのだ。それはエクゾーストノートや、目を見張る内装のデ

ザインや…。ハンドリングはやけにクイックだ。絶対性能では語れない、ドライバーの五感に訴えてくる何か。有機的であり動物的でもあり。例えばドイツ車が精巧な機械だとしたら、こっちは生き物的。そういうところを僕は気に入っているのだ。

“吊るし”の状態では乗らない

でも、こんなふうに書いてくると、僕が大手を振って「イタリア車万歳!」と思っているように捉えられるかもしれないね。でも、そうでもない。

イタリア人と一緒に仕事(レース)をしてみると、意外とシャイだったりして気が合う。でもやっぱりおおらかさ(=いい加減さ?)などところはあるし、理想を追いかければかりいて足元を見ない面



空力効果に配慮したウイングの形状が、安心感と高品質感をもたらしている。



奮い立たせる緊張感——。 魅力を引き出す設計哲学と理想の“融合”

フェラーリ360&アルファロメオ159 太田 哲也 氏

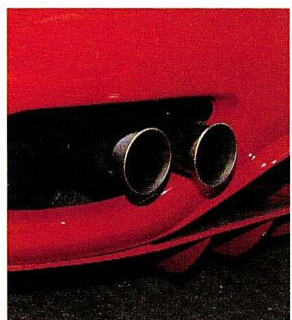
もある。そういう箇所は、自分で手を入れて直してしまうのが僕のやり方だ。車を“吊るし”の状態に乗るのは自分の中には無い選択肢なんだよね。モータージャーナリストでありレーサーである僕が乗れば“イマイちな点”も見えてしまうわけ。わかっているのに甘んじているのは体に良

くないから、もっと良くしてしまおうというスタンスだ。

開発者の理念とこだわりを融合させる

例えばフェラーリ360は、エアロパーツや足回りを改良して、安心してアクセルを踏めるようにした。アルファ159に関しては、スポーツマフラーやスロットルコントローラー、空力パーツで修正して運動性と燃費を向上させた。

もしかしたらフェラーリやアルファの技術者が本当はやりたかったけど、数を売るため、コストやその他の理由で理想を遂げられなかったこと。それを彼らに代わってやっているのかもしれない。下から崇め奉るのではなく、車という道具を通して作り



アクセルを踏んだ時の快音を実現。職人技を随所に駆使している。



TEZZO BASE

パーツ販売の他にもサービスファクトリとしてメンテナンスも行うチューニングブランド「TEZZO」のショールームも兼ね備えている。

<http://www.tezzobase.jp>

ホイールの優美なラインの中にも軽量強靱さが盛り込まれている。



手の精神に共感しリスペクトしながらも、立ち位置において近づく。僕の車に対するこだわりでもある。

ThinkPadのこだわり

洗練されたスタイリッシュなデザイン性

● ボディデザイン

従来のThinkPadには無い、デザイン性を重視したスタイリッシュパソコン。シンプルでありながら、モダンで高級感のあるデザイン。液晶のふちにあるシルバーのラインがアクセントになり、薄さを演出している。

